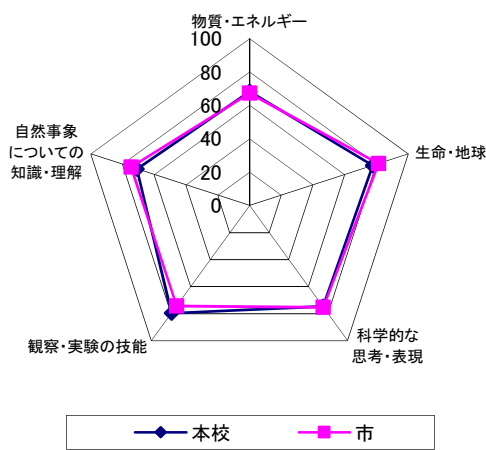


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	68.3	67.3	64.4
	生命・地球	77.6	81.3	80.3
観点別	科学的な思考・表現	74.7	75.3	72.6
	観察・実験の技能	79.7	74.4	73.5
	自然事象についての知識・理解	71.0	74.7	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○平均正答率は、市の平均正答率をやや上回る。特に物の燃え方については、よく理解できている。 ●「物のとけ方」の水よう液にミョウバンを溶かした時の重さや「水よう液の性質」で塩酸の性質について正しく理解できていない児童が多かった。 ●ふりこのきまりから、メトロノームのテンポを速くする方法を推察できる児童が少なかった。	・水よう液の重さについて、実際にミョウバンを溶かして再実験し、理解を深められるようにする。 ・塩酸の性質についても教科書を読んで復習するだけでなく、実験をし、理解の定着を図る。また、水酸化ナトリウムなどとの性質を明確にしていける。
生命・地球	●平均正答率は、市の平均正答率を下回る。受精卵や肝臓、小腸のはたらきなど基本的な問題でつまづく児童が見られた。 ○植物のつくりとはたらきについては、よく理解できている。	・臓器の働きについて整理できていない児童がいるため、整理し直す。模型などを使い、臓器の場所なども確認していく。 ・受精などの学習については、これまでの理科や保健の学習の見直しや養護教諭などとの連携により、確認していく。